

## ネイティブ セルモナス属グリセロール脱水素酵素

Cat. No. NATE-0283

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** グリセロール脱水素酵素は、NAD<sup>+</sup>を利用してグリセロールの酸化を触媒し、グリセオン（ジヒドロキシアセトン）を形成する酸化還元酵素ファミリーの酵素です。

**用途** この酵素は、臨床分析においてリポ蛋白質リパーゼと結合することで、グリセロールおよびトリグリセリドの酵素的測定に役立ちます。グリセロールとNAD<sup>+</sup>の反応からNADHの生成は、グリセロール脱水素酵素によって触媒されました。

**別名** EC 1.1.1.6; NAD<sup>+</sup>結合グリセロール脱水素酵素; グリセロール:NAD<sup>+</sup> 2-酸化還元酵素; GDH; GIDH; GlyDH; 9028-14-2; グリセリン脱水素酵素

### 製品情報

<b>由来</b>	セルモナス属
<b>形態</b>	牛血清アルブミンを含む凍結乾燥粉末
<b>EC番号</b>	EC 1.1.1.6
<b>CAS登録番号</b>	9028-14-2
<b>分子量</b>	mol wt ~390 kDa
<b>活性</b>	50-125 ユニット/mg タンパク質
<b>等電点</b>	4.4 ± 0.1
<b>pH安定性</b>	pH 7.5 - 10.5 (25°C, 20時間)
<b>最適pH</b>	10.0 - 10.5
<b>熱安定性</b>	55°C未満 (pH 7.5、15分)
<b>最適温度</b>	50°C
<b>ミカエリス定数</b>	1.1 × 10 <sup>-2</sup> M (グリセロール), 8.9 × 10 <sup>-5</sup> M (NAD <sup>+</sup> )
<b>構造</b>	酵素1モルあたり10サブユニット (42 kDa)
<b>阻害剤</b>	p-クロロ水銀ベンゾエート、o-フェナントロリン、モノヨードアセテート、重金属イオン (Co <sup>++</sup> 、Ni <sup>++</sup> 、Cu <sup>++</sup> 、Zn <sup>++</sup> 、Cd <sup>++</sup> )
<b>単位定義</b>	1ユニットは、25°C、pH 10.0で1分あたり1.0μモルのグリセロールをジヒドロキシアセトンに酸化します。

### 保管・発送情報

**保存方法** -20°C